

千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定支援業務委託仕様書

1 委託業務の目的

本件業務委託は、令和5年3月に策定した「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（現行計画）の令和9年度の改定にあたり、現行計画での課題整理、各施策の点検・評価や次期計画策定のための種々の調査及び他市の状況及び廃棄物の現状把握、ごみ量推計、ごみ減量・再資源化のための計画事業、収集運搬計画、中間処理計画、最終処分計画等の立案等、「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の策定を支援するための調査研究・立案及び計画書の作成を行う。

2 次期計画の計画期間

令和10年度を開始時期とし、10か年または15か年の計画期間とする。

3 適用範囲

本仕様書は、千葉市（以下「発注者」という。）が実施する、千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定調査業務委託（以下「業務」という。）を受託したもの（以下「受注者」という。）が遵守すべき主要な事項を示したものであり、契約書に定めるもののほか、本仕様書に基づき業務を行うものとする。

4 業務の実施

受注者は、業務を実施するにあたり、発注者の意図及び目的を十分理解し、適切な人員を配置して、最高技術を発揮できるよう努力するとともに、正確・丁寧に行うものとする。

5 委託期間

令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

6 業務の指示及び監督

受注者は、本業務の実施にあたり、当該契約に基づき発注者と密接な連絡を取り、その指示に従わなければならない。

また、本仕様書の解釈に疑義が生じたとき、並びに仕様書に明記されていない事項について判断が必要なときは、発注者と事前に協議し、その指示に従わなければならない。

7 作業計画書の提出

受注者は、契約締結後遅滞なく、発注者と協議の上、仕様書に基づいて業務の具体的な作業計画書（様式任意）を作成し、提出するものとする。

8 資料の貸与

発注者は、業務の遂行上必要な資料で、発注者が所有している提供可能な資料について貸与する。
この場合、受注者は業務が完了したときは速やかに返却するものとする。

9 業務の概要

<令和8年度>

- (1) ごみ処理の現状把握と課題調査
- (2) 現行計画の点検と評価
- (3) ごみの発生量・処理量及びごみ質の将来予測
- (4) 計画策定に関する提案
 - ア 各種施策の検討
 - イ 基本理念、基本方針の提案
 - ウ 施策体系の提案
 - エ スローガンの提案
 - オ 数値目標の提案
 - カ 概算コストの試算
- (5) 計画策定に係る基礎情報の整理

<令和9年度>

- (1) 計画の策定
 - ア 個別事業の内容の整理
 - イ ごみの発生及び処理に関する推計値の調整
 - ウ 目標の達成に向けた施策展開の検討
 - エ 計画案作成に関する支援
- (2) 各種施策の検討・提案
 - ア 重点施策の具体的な内容の検討・提案
 - イ その他新規施策の具体的な内容の検討・提案
- (3) ごみ処理に伴う体制検討
 - ア 収集運搬計画の検討
 - イ 中間処理計画の検討
 - ウ 最終処分計画の検討
- (4) 計画の推進・進行管理方法の検討
- (5) 計画書冊子及び概要版リーフレットの作成・製本

<令和8～9年度>

- (1) 各種会議における支援
- (2) その他

10 業務内容

<令和8年度>

- (1) ごみ処理の現状把握と課題調査
 - 令和5年3月の計画策定時から現在までのごみ処理の現状を把握し、課題を整理する。
 - ア 家庭ごみ及び事業所ごみの分析
 - 過去5年分（令和3年度から令和7年度まで）のごみ組成分析調査結果、2清掃工場におけるごみ質分析結果、減量計画書、その他のデータを用いて、ごみ排出状況の整理を行う。
(※データは発注者が提供する。)
 - イ 家庭ごみに関する意識調査の実施
 - ごみ排出やりサイクルに関する意識及び取り組みの実態、将来に向けた協力意識を把握するため、

市民向けアンケート調査を実施する。

【調査対象】無作為抽出の市内1,000世帯（抽出データは発注者が提供する）

ウ 事業所アンケート調査の実施

事業系ごみの発生状況、処理状況を把握するため、事業所向けアンケートを実施する。

【調査対象】市内200事業所（発注者が選定を行う）

（※イ、ウについては、発注者が提供するアンケート内容おwもとに、受注者にて設問（案）を作成し、発注者の指示により修正を行う。）

（2）現行計画の点検と評価

現行計画の見直しを行うための点検と評価を行う。

ア 現行計画の24事業の点検・評価

各事業の進捗状況を点検し、達成度及び次期計画における継続性の評価を行う。

イ 現行計画全体の評価

各事業の点検・評価の内容を総括し、各基本方針の施策展開の評価を行うとともに、事業効果の分析を行う。

また、現行計画の計画フレーム及び数値目標と実績値を比較し、現行計画全体の進捗状況の評価を行う。

（3）ごみの発生量・処理量及びごみ質の将来予測

ア ごみの将来予測

過去5年分（令和3年度から令和7年度まで）のデータ分析で得られた結果であるごみの発生量、組成及び処理量をベースとしたうえで、本市の人口推計、事業所数の推移、近年の社会動向及び新型コロナウイルス感染症を契機とする様々な社会変容を考慮した、令和24年度までのごみの発生量、組成及び処理量を予測し、とりまとめる。

イ 将来の施策展開を踏まえた予測

各種施策展開にあたってのシミュレーションを行い、新たな施策展開による減量効果を踏まえた、ごみの発生量・組成及び処理量を予測し、とりまとめる。

（4）次期計画の策定に関する提案

（1）から（3）で行った調査・分析等に基づき、次期計画の基本理念、各種施策等について提案する。

ア 基本理念、基本方針の提案

令和9年度から開始し、計画期間が10か年から15か年に及ぶ長期計画であることから、本市のごみ処理行政に相応しい基本理念、基本方針の提案を行う。

イ 各種施策の提案

（ア）継続施策の検討

現行計画に掲げている各種施策の統廃合を含め、見直した効果的な施策を提案する。

（イ）重点施策の検討

次期計画の策定にあたり、本市が重点施策として位置付けうるものについての検討を行う。

【参考】現行計画の重点施策

- ・プラスチックの排出抑制や資源循環に係る施策
- ・食品ロス削減に係る施策
- ・生ごみ削減に係る施策

(ウ) 新たな施策の提案

他市事例などを調査し、新しい施策を提案するとともに、その費用に対する効果を考慮した検証を行う。

- a 更なる3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進のための施策
- b 更なる再資源化推進のための施策
- c ごみ処理システムに関連する施策

(※将来的に法改正等があった場合を想定し、可能な限り対応できる施策を盛り込むこととする。)

ウ 施策体系の提案

上記ア、イの内容を踏まえ、施策体系の提案を行う。

エ スローガンの提案

上記アからウの内容を踏まえ、他市の事例などを調査したうえで、スローガンの提案を行う。

オ 数値目標に関する提案

(ア) 項目の検討

現行計画に掲げる7つの数値目標に限らず、食品ロス削減に係る項目を含めた、新たな項目についても検討を行う。

(イ) 算出方法の検討

カ 概算コストの試算

計画期間内（令和10～24年度）における、経費の試算を行う。

(5) 計画策定に係る基礎情報の整理

ア 法制度の状況

近年に整備・制定された、本計画に関連する廃棄物関連法制度の状況について取りまとめを行う。

イ 政令指定都市の状況

(ア) 一般廃棄物処理基本計画の策定状況及び内容

(イ) 廃棄物処理に関する各項目の数値データ

<令和9年度>

(1) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定

ア 個別事業の内容の整理

次期計画の骨子の内容（基本理念・基本方針・施策体系）を踏まえ、各個別事業を構成する取組み内容の整理を行う。

イ ごみの発生及び処理に関する推計値の調整

(ア) 最新実績（令和8年度）に基づくごみ量予測

令和8年度の実績値を踏まえ、調査により得られたごみ量の推計値の補正を行う。

(イ) 数値目標の補正

(ア) で行った補正に基づき、調査により得られた数値目標の補正を行う。

(ウ) 概算コストの試算（補正）

(ア) (イ) で行った補正に基づき、調査により得られた概算コストの補正を行う。

ウ 目標の達成に向けた施策展開の検討

想定される事業効果の整理を行い、目標の達成に向けた施策の展開及び計画フレームの検討を行う。

エ 計画案作成に関する支援

次期計画の骨子の内容を踏まえ、計画案の作成に関連して、以下の項目についての支援を行う。

(ア) 計画案の構成及びレイアウトに関する提案

- (イ) 必要なグラフ、図、イラスト等の作成
- (ウ) 「食品ロス削減推進計画」の内包に関する提案及び調整
- (2) 重点施策や新規施策の具体的な内容の検討・提案
 - 他市事例などを調査し、本市が重点施策として位置づけ得る施策や新しい施策を提案するとともに、その費用に対する効果を考慮した検証を行う。
 - ア 更なる3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進のための施策
 - イ 更なる再資源化推進のための施策
 - ウ ごみ処理システムに関連する施策
- (3) ごみ処理に伴う体制検討
 - ア 収集運搬計画の検討
 - 次期計画の数値目標に対応させる形で、収集運搬物の種類ごとに数量の算定を行う。
 - イ 中間処理計画の検討
 - 次期計画の数値目標に対応させる形で、各施設の中間処理物の種類ごとに数量の算定を行う。
 - ウ 最終処分計画の検討
 - 次期計画の数値目標に対応させる形で、最終処分量の算定を行ったうえで、現在稼働中の最終処分場の残余年数の算定を行う。
 - (※最終処分場の残余年数の算定は、推計値ベースにおいても行うこと)
- (4) 計画の推進・進行管理方法の提案
 - 計画の推進及び進行管理についての具体的な手法の提案を行う。
- (5) 計画書冊子及び概要版リーフレットの作成・製本
 - ア 計画書冊子
 - 計画の完成後に、計画書冊子に係る印刷原稿の作成を行うこと。
 - (※印刷製本は発注者において行い、受注者は作成した印刷原稿を電子データで納品すること)
 - イ 概要版リーフレット
 - (ア) 構成・レイアウトに関する提案を行うとともに、必要なグラフ、図、イラスト等の作成を行うこと。
 - (イ) 印刷原稿の作成及び製本を行うこと。

<令和8～9年度>

- ア 作業の方向性及び進捗状況等の確認を行うため、市と発注者との間で、月1回程度、打合せ協議を行うこととする。
 - (※発注者より指示がない場合は、WEB形式で行う)
- イ 庁内会議（策定委員会、ワーキングなど）及び千葉市廃棄物減量等推進審議会等で使用する資料等について市から作成・提出の依頼があった場合は応じるものとする。
- ウ また、上記業務で行った調査等の内容について、発注者から求めがあった場合は、随時、資料として提出すること。

11 成果物について

<令和8年度>

上記の業務で行った調査等の内容を取りまとめ、年度末までに、「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計

画策定調査業務報告書」として作成すること。

(1) 成果物の内訳

- ア 調査報告書（本編）
- イ 調査報告書（資料編）

(2) 作成数量及び媒体

上記ア、イともに以下のとおりとする。

- ・製本（紙媒体） 3部
- ・電磁的記録媒体（CD-R等）
→ マイクロソフト社 Word 形式 及び アドビシステムズ社 PDF 形式 でデータ一式を保存すること。

<令和9年度>

(1) 成果物の内訳、作成数量及び媒体

下記ア、イ、ウともに、電磁的記録媒体には、マイクロソフト社 Word 形式 及び アドビシステムズ社 PDF 形式 でデータ一式を保存すること。

イ、ウについては、文字校正3回及び色校正1回を行うこと。

ア 調査報告書

上記 10 (1) から (4) までの業務で行った調査等の内容を取りまとめ、委託期間の終了時に、「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定支援業務報告書」として作成すること。

- ・製本（紙媒体） 3部
- ・電磁的記録媒体（CD-R等） 1部

イ 計画書冊子

- ・電磁的記録媒体（CD-R等） 1部

ウ 概要版リーフレット

- ・製本（紙媒体） 1,500部
8ページ 中綴じ 仕上りA4
コート紙（古紙配合率70%以上再生紙） 四六判90kg
オフセット印刷（植物油インキを使用すること。）
- ・電磁的記録媒体（CD-R等）

(3) 納品場所

千葉市環境局資源循環部廃棄物対策課

(4) 留意事項

製本で使用する紙については、千葉市グリーン購入推進方針に基づき、古紙パルプ配合率70%以上のものを使用すること。

また、データを保存する電磁的記録媒体については、ウイルスチェック済のものを使用すること。

12 業務における留意事項

- (1) 成果物の所有権は発注者に帰属し、これを無断で加工、複製または使用してはならない。
- (2) 業務実施において、業務の全部又は主たる部分を他の業者に再委託してはならない。なお、業務の一部を他の業者に再委託する場合には、別途発注者が指定する様式にて申請のうえ、発注者の許諾を得るものとする。
- (3) 成果物が、商標権、著作権その他第三者の権利を侵害しないことを保証すること。第三者からそれらの権利を侵害した又はその恐れがある旨の訴えがあった場合の一切の責任は、受注者が負うものとする。

13 その他の留意事項

- (1) 責任者の選任及び作業の進捗状況報告
受注者は、本業務に関する責任者を選任し、その進捗状況を管理するとともに、発注者の求めに応じて作業の予定及び進捗状況の報告を行うものとする。
- (2) 検査及び責任
受注者は、本業務の実施にあたり、必要に応じて発注者の検査請求に応じなければならない。また、仕様書との不一致及び作業の不履行が発見された場合は、検査終了後であっても発注者と協議し、受注者は無償で是正措置を行うこと。
- (3) 企画提案の内容
企画提案の内容は、本業務委託仕様書の一部とみなす。なお、企画提案の内容の変更については、受注者と発注者で協議の上、発注者が対応を決定することとする。